

[平成19年度設置]

計画の区分：通信開設

注1

認可

東京福祉大学短期大学部 こども学科（通信教育課程）

注2

【認可】留意事項実施状況報告書

学校法人 茶屋四郎次郎記念学園
平成25年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は認可時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学新設の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1. 調査対象大学等の概要等
2. 授業科目の概要
3. 【参考】2013年度担当教員一覧
4. 留意事項に対する履行状況等

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 茶屋四郎次郎記念学園

(2) 大学名

東京福祉大学短期大学部

(3) 大学の位置

〒372-0831

群馬県伊勢崎市山王町2020番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(ナカジマ ツネオ) 中島 恒雄 (平成12年4月)	(ナカシマ ノリ) 中島 範 (平成20年1月)	中島恒雄辞任のため(20)
		(マツバラ マシオ) 松原 眞志夫 (平成23年11月)	中島範辞任のため(23)
		(ミズノ リョウジ) 水野 良治 (平成25年4月)	松原眞志夫辞任のため (25)
学長	(ナカシマ ノリ) 中島 範 (平成19年4月)	—	
学部長	(サイトウ キヨシ) 齋藤 歎能 (平成19年4月)	—	
学科長等	—	—	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)
 平成25年度に報告する内容 → (25)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の博士後期課程の場合(平成24年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
短期大学部 こども学科 (通信教育課程) 短期大学士 (こども学)	3年	800人	二次 一人	2,400人	

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	800人 (-) [-]		800人 (-) [-]		800人 (-) [-]		800人 (-) [-]		800人 (-) [-]		800人 (-) [-]		800人 (-) [-]		0.18倍	※()内の人数は転入学数 ※平成25年度春季入学は選考中、入学手続き中を除いて算出 ※平成25年度その他の学期は平成25年7月より募集開始
志願者数	259人 (530人) [-]	22人 (5人) [-]	99人 (9人) [-]	20人 (4人) [-]	58人 (17人) [-]	24人 (2人) [-]	125人 (13人) [-]	27人 (2人) [-]	177人 (29人) [-]	55人 (-) [-]	174人 (30人) [-]	24人 (5人) [-]	10人 (19人) [-]	一人 (-) [-]		
受験者数	259人 (530人) [-]	22人 (5人) [-]	99人 (9人) [-]	20人 (4人) [-]	58人 (17人) [-]	24人 (2人) [-]	125人 (13人) [-]	27人 (2人) [-]	177人 (29人) [-]	55人 (-) [-]	174人 (30人) [-]	24人 (5人) [-]	10人 (19人) [-]	一人 (-) [-]		
合格者数	257人 (531人) [-]	23人 (4人) [-]	97人 (11人) [-]	20人 (2人) [-]	60人 (15人) [-]	23人 (1人) [-]	128人 (10人) [-]	27人 (0人) [-]	179人 (27人) [-]	55人 (-) [-]	175人 (29人) [-]	24人 (5人) [-]	10人 (19人) [-]	一人 (-) [-]		
B 入学者数	251人 (531人) [-]	22人 (3人) [-]	94人 (9人) [-]	16人 (2人) [-]	55人 (15人) [-]	16人 (1人) [-]	119人 (10人) [-]	24人 (0人) [-]	173人 (27人) [-]	50人 (-) [-]	169人 (29人) [-]	22人 (5人) [-]	10人 (19人) [-]	一人 (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	0.34 (0.67)		0.14 (0.01)		0.09 (0.02)		0.18 (0.01)		0.28 (0.03)		0.24 (0.04)		0.01 (0.02)			

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年度で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期											
1年次	[-] 244人	[-] 21人	[-] 93人	[-] 16人	[-] 58人	[-] 17人	[-] 119人	[-] 25人	[-] 193人	[-] 53人	[-] 167人	[-] 22人	[] 14人	[] 22人	
2年次	[-] 190人	[-] 1人	[-] 206人	[-] 15人	[-] 84人	[-] 14人	[-] 49人	[-] 17人	[-] 106人	[-] 22人	[-] 171人	[-] 56人	[] 166人	[] 55人	
3年次	[-] 329人	[-] 2人	[-] 200人	[-] 4人	[-] 227人	[-] 19人	[-] 116人	[-] 25人	[-] 101人	[-] 28人	[-] 141人	[-] 43人	[] 220人	[] 40人	
4年次	/		/		/		/		/		/		/		
計	[-] 787人	[-]	[-] 534人	[-]	[-] 419人	[-]	[-] 351人	[-]	[-] 503人	[-]	[-] 600人	[-]	[] 517人	[]	

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

2 授業科目の概要

<こども学科（通信教育課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般教養教育	文章表現					1		1				兼 8
	文章の理解と表現	1	2				1					兼 3
	社会科学の基礎	1		2								兼 3
	人文科学の基礎	1		2								兼 1
	自然科学の基礎	1		2		1						兼 2
	判断推理と数的推理	1		2								兼 4
	資料解釈	1		2								兼 16
	情報機器の操作 I						1					
	情報処理演習	1	2									
	健康科学	1	2			1						
	健康・スポーツ											兼 14
	体育（講義・実技）	1	2			1		1				
	レクリエーション理論	1	2	2		1		1				兼 6
	レクリエーションワーク											兼 11
	レクリエーションワーク（実技・実習）	1	2	2		1		1				
	乳幼児の脳機能	2		2		1						
	情報機器の操作 II	2		2			1					兼 6
現代社会の理解	法学（憲法を含む）	4	4									兼 10
	人権教育（こどもの人権を含む）											兼 7
	こどもの人権	1	2									
	福祉と教育	2	2	2								兼 5
	ボランティア論											兼 5
	地域ボランティア論	2・3		2				1				
	少年と犯罪	2・3		2								兼 6
	ジェンダー論	1		2								兼 2
	ノーマライゼーション論	2・3		2								兼 4
	現代女性論	2・3		2								兼 3
文化や言語の理解	アメリカの文化と言語 I	1	2									兼 15
	アメリカの文化と言語 II	2・3		2								兼 7
	中国の文化と言語 I	1・2		2								兼 1
	中国の文化と言語 II	2・3		2								兼 1
	韓国の文化と言語 I			2								兼 1
	韓国の文化と言語	1		2								兼 1
	韓国の文化と言語 II	2		2								兼 1
	ラテンアメリカの文化と言語	2・3		2								兼 1
	国際化と多文化理解	1・2・3		2								兼 2
日本の文化と言語	1		2								兼 1	
専門基礎教育	こどもの心理入門	1	2			1		1				兼 7
	保育児童学概論	1	2	2		1	1					兼 9
	保育原理	1	4	4		1	1	2				兼 9
	児童家庭福祉											兼 10
	児童福祉	1	2									
	社会福祉	1										兼 7
	社会福祉	2・3	2			1						
保育士・教師論	2		2								兼 1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
※「こどもの理解」と「こどもの理解・発達支援」を統合	発達心理学Ⅰ	1						1	1		兼 11
	発達心理学										
	発達心理	2	2			1					
	発達心理学Ⅱ	2		2					1		兼 17
	教育心理学	2	2			1		1	1		兼 10
	教育原理	2	2	2							兼 6
	こどもの保健Ⅰa	2	2			1					兼 7
	こどもの保健Ⅰb	2		2		1					兼 7
	小児保健(講義)	2	4	4		1					
	こどもの保健Ⅱ	2				1					兼 14
	小児保健(実習)					1					
	小児保健(実技)	3	1	1		1					
	こどもの食と栄養	2	2								兼 20
	小児栄養	1	2	2							
	精神保健	3	2	2		1					兼 7
	幼児理解	1 2・3		2				1			兼 10
	こどもの生活と遊び	1	2	2		1	1				兼 7
障害児保育	2・3		2							兼 14	
保育の内容・方法	図画工作Ⅰ	1	2			1			1		兼 20
		2		2							
		1									
	図画工作Ⅱ	2・3	2	2		1			1		兼 18
		2									
	幼児体育	1	1			1		1			兼 11
	音楽基礎Ⅰ						1				兼 20
	音楽Ⅰ	1	2			1					
	音楽基礎Ⅱ	1					1				兼 20
	音楽Ⅱ	2・3	2	2		1					
	こどもの音楽Ⅰ	2	2				1				兼 12
	こどもの音楽Ⅱ	2		2			1				兼 8
		1	2								
	保育内容総論	2・3		2	2	1	1		1		兼 11
保育内容(言葉)		2			1					兼 19	
保育内容(ことば)	1					1					
ことば	2	1	1			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
保育の内容・方法	保育内容（環境）		2			1			1		兼 15
	環境	1	1	1		1					
	保育内容（環境Ⅱ）	2		1		1			1		兼 4
	保育内容（人間関係）		2						1		兼 19
	人間関係	1	1	1							
	保育内容（表現）		2			1	1				兼 14
	表現	1	2	2			1				
	保育内容（健康）		2			2					兼 14
	健康	1	1	1		1	1				
	保育内容（健康Ⅱ）	1		2		2	1				兼 8
	乳児保育Ⅰ		2			1	1				兼 17
	乳児保育	2	2	2			1				
	乳児保育Ⅱ	2		2		1	1				兼 10
	社会的養護					1					兼 7
	養護原理	2・3	2	2		1					
	社会的養護内容	2				1					兼 12
	養護内容	3	2	2		1					
	カリキュラム論	3		2			1				兼 1
	保育表現技術演習	3		2		1	1				兼 1
子育て支援の理解と方法	相談援助演習	2				1					兼 23
	社会福祉援助技術	3	2	2							
	家庭支援論	2						1			兼 5
	家族援助論	3	2	2							
	保育相談支援演習	3		2		1			1		兼 5
	臨床心理学	3		2					1		兼 10
		3									
	カウンセリングの基礎	2・3	2	2					1		兼 7
	学習困難児指導法	3		2		1					兼 7
	多文化保育・子育て演習					1					兼 2
	多文化理解と子育てワークショップ	3		2			1				
	子育て支援論								1		兼 7
地域子育て支援	3		2								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
保育の実践と子育て支援	専門演習 I	3 2・3	2			1	+					兼 19	
			2	2		+	2					兼 15	
	専門演習 II	3	2	2		+	+					兼 20	
	保育実習事前指導 I (保育所・施設)	2		1		1	+	1				兼 17	
	保育実習事後指導 I (保育所・施設)	2		1		1	+	1				兼 20	
	保育実習事前指導 II (保育所)	3		1		1	+	1				兼 17	
	保育実習事後指導 II (保育所)	2		1		1	+	1				兼 18	
	保育実習事前指導 III (施設)	3		1		1	+	1				兼 16	
	保育実習事後指導 III (施設)	2・3	2	2		2	+					兼 20	
	保育実習事件事後指導												
	保育・教職実践演習	3		2		2	+					兼 4	
	保育実習 I (保育所・施設)	2・3	4	4		1	1					兼 31	
	保育実習 I												
	保育実習 II (保育所)	3		2			+					兼 25	
保育実習 II													
保育実習 III (施設)	3		2		2						兼 30		
保育実習 III					2								
キャリア開発支援教育科目	基礎演習 I	1		2		1						兼 2	
	基礎演習 II	1		2		1						兼 1	
	キャリア開発演習 I (保育士・教養・教員コース)	2				1	1					兼 7	
	キャリア開発演習 I (保育士コース)	+		2									
	就職対策講座 I												
	キャリア開発演習 II (保育士・教養・教員コース)	3					1					兼 5	
	キャリア開発演習 II (保育士コース)												
	就職対策講座 II	2		2									
	キャリア開発演習 III (保育士コース)	2・3		2			+						
	就職対策講座 III							2					
キャリア開発演習 IV (保育士コース)	3		2										
就職対策講座 IV													
(※幼稚園・小学校教諭免許取得課程を含む)	教師論	1 2・3 2		2	2	1						兼 12	
	幼児教育方法論	3		2			1					兼 10	
	教育法規	3		2								兼 5	
	教育相談 (カウンセリングを含む)	2・3		2				4	1			兼 16	
	教育方法論	2・3		2	2	+						兼 9	
	教育実習指導 (初等)	2				1	1					兼 9	
	幼稚園教育実習指導	3		1	+								
	教育実習 (初等) I	3		2	2	1	1						
	幼稚園教育実習 I												
	教育実習 (初等) II	3		2	2	1	1						
	幼稚園教育実習 II												
教職実践演習 (幼稚園)	3		2		2	+		1			兼 2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
(※幼稚園・小学校教諭免許取得課程を含む)	教職実践演習(小学校)	3		2		1						兼5
	総合演習	2				1		1				兼13
	こども総合演習	3	2									
	国語(書写を含む)											兼5
	国語	2・3		2								
	算数	2・3		2		4						兼5
	生活	2		2								兼3
	体育	2		2								兼7
	教育行財政	2		2								兼7
	教育課程論	2		2		1						兼10
	児童生徒指導論(進路指導を含む)	2		2		1						兼6
	道徳教育の研究	3		2		1						
	特別活動の指導法	3		2								兼3
	国語科指導法(書写を含む)	2		2								兼2
	社会	2		2		1						兼4
	社会科指導法	2		2		1						兼4
	算数科指導法	2		2		4						兼4
	理科	2		2								兼2
	理科指導法	2		2		1						兼6
	生活科指導法	2		2								兼4
	音楽科指導法	2		2			1					兼5
	図画工作科指導法	2		2		4			1			兼7
	家庭	2		2								兼2
家庭科指導法	2		2								兼3	
体育科指導法	2		2								兼5	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
40	34	6	80	29	77	0	106	
				[△11]	[+43]	[△6]	[+26]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	社会科学の基礎	2	1	一般	選択	児童福祉法施行規則改正による保育士教科目の変更に伴い、保育士課程履修者の履修科目を軽減するため、平成23年度入学生から廃止とする。
2	人文科学の基礎	2	1	一般	選択	
3	自然科学の基礎	2	1	一般	選択	
4	判断推理と数的推理	2	1	一般	選択	
5	資料解釈	2	1	一般	選択	
6	福祉と教育	2	2	一般	選択	
7	ノーマライゼーション論	2	2・3	一般	選択	
8	現代女性論	2	2・3	一般	選択	
9	ラテンアメリカの文化と言語	2	2・3	一般	選択	
10	国際化と多文化理解	2	1・2・3	一般	選択	
11	こどもの心理入門	2	1	一般	必修	児童福祉法施行規則改正による保育士教科目の変更に伴い、保育士課程履修者の履修科目を軽減するため、平成23年度入学生から廃止とする。また、同科目の内容は新規開設科目「発達心理学Ⅱ」に含める。
12	保育児童学概論	2	1	一般	選択	児童福祉法施行規則改正による保育士教科目の変更に伴い、保育士課程履修者の履修科目を軽減するため、平成23年度入学生から廃止とする。
13	精神保健	2	3	専門	選択	
14	こどもの生活と遊び	2	1	専門	選択	児童福祉法施行規則改正による保育士教科目の変更に伴い、保育士課程履修者の履修科目を軽減するため、平成23年度入学生から廃止とする。また、同科目の内容は「保育内容（健康）」に含める。
15	保育内容（健康Ⅱ）	1	1	専門	選択	
16	保育内容（環境Ⅱ）	1	2	専門	選択	児童福祉法施行規則改正による保育士教科目の変更に伴い、保育士課程履修者の履修科目を軽減するため、平成23年度入学生から廃止とする。また、同科目の内容は「保育内容（環境）」に含める。
17	保育実習事前事後指導	2	2・3	専門	選択	児童福祉法施行規則改正による保育士教科目の変更に伴い、内容を精査し、新規開設科目「保育実習事前指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「保育実習事後指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」に統合するため、平成23年度入学生から廃止とする。
18	教職実践演習（幼稚園）	2	3	専門	選択	児童福祉法施行規則改正に伴う教職課程の変更に伴い、同科目に代わる「保育・教育実践演習」が開設されたため、平成23年度入学生から廃止とする。
19	総合演習	2	2	専門	必修	児童福祉法施行規則改正による保育士教科目の変更に伴い、同科目に代わる「保育・教育実践演習」が開設されたため、平成23年度入学生から廃止とする。
20	教育行財政	2	2	専門	選択	児童福祉法施行規則改正に伴う教職課程の変更に伴い、同科目に代わる「教育法規」が開設されたため、平成23年度入学生から廃止とする。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

今回の科目廃止は、児童福祉法施行規則改正による保育士教科目の変更に伴い、保育士課程履修者の履修科目を軽減させるための配慮であり、廃止科目の大半は保育士指定教科目ではないため、学生の保育士資格取得及び履修への影響はないと考える。
また、廃止科目のうち旧保育士指定教科目に該当する科目も数科目あるが、児童福祉法施行規則改正により新規に開設された保育士教科目で補えるため、この点も学生の履修への影響はないと考える。
なお、学生への周知に関しては、入学者全員に配付している『履修登録』（科目履修登録の詳細が記載された冊子）にて周知を行っている。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計 (20)}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計 (80)}} = \boxed{0.25}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

【参考 2013年度担当教員一覧】 <短期大学部こども学科通信教育課程> ※平成25年5月1日現在

専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月日＞	2013年度担当授業科目名	配当 年次	担当 単位数
専	教授	サイウ キョシ 齋藤 歎能 ＜平成19年4月＞	こどもの保健 I a こどもの保健 I b こどもの保健 II 保育内容(健康) 保育内容(健康 II) 教職実践演習(幼稚園)	2 2 2 1 2 3	2 2 1 1 1 2
専	教授	マツモト ケンジ 松本 健二 ＜平成19年4月＞	社会的養護 社会的養護内容 保育実習 I (保育所・施設) 保育実習 III (施設) 専門演習 II 社会福祉 相談援助演習	2 2 2 3 3 2 2	2 2 4 2 2 2 2
専	教授	コバヤシ ヤスロ 小林 保子 ＜平成19年4月＞	障害児保育 保育内容(環境) 保育実習 III (施設) 保育実習事前事後指導 保育内容(環境 II) 総合演習 学習困難児指導法 保育・教職実践演習	2 1 3 2 2 2 3 3	2 1 2 2 1 2 2 2
専	教授	ネギシ アキラ 根岸 章 ＜平成21年9月＞	社会 社会科指導法 教師論 教育課程論 道徳教育の研究 児童生徒指導論(進路指導を含む) 教育実習指導(初等) 教育実習(初等) I 教育実習(初等) II 教職実践演習(小学校)	2 2 1 2 3 2 2 3 3 3	2 2 2 2 2 2 1 2 2 2
専	教授	クハラ ヒサシ 栗原 久 ＜平成22年4月＞	自然科学の基礎 健康科学 乳幼児の脳機能 理科指導法 キャリア開発演習 I (保育士・教養・教員コース) 基礎演習 I 基礎演習 II	1 1 2 2 2 1 1	2 2 2 2 2 2 2
専	教授	コマイ ミチコ 駒井美智子 ＜平成24年4月＞	こどもの生活と遊び 保育内容(言葉) 専門演習 I 保育児童学概論 文章表現 保育原理 保育内容総論 保育内容(健康) 保育内容(健康 II) 保育内容(表現) 専門演習 II 保育実習事前事後指導 教職実践演習(幼稚園) 多文化保育・子育て演習 乳児保育 I 乳児保育 II 保育・教職実践演習 保育表現技術演習 保育実習事前指導 I (保育所・施設) 保育実習事前指導 II (保育所) 保育実習事前指導 III (施設) 保育実習事後指導 I (保育所・施設) 保育実習事後指導 II (保育所) 保育実習事後指導 III (施設) 保育士・教師論 保育相談支援演習	1 1 3 1 1 1 1 1 2 1 3 2 3 2 2 2 3 2 2 2 2 2 2 2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 3	2 2 2 2 2 2 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2

【参考 2013年度担当教員一覧】 <短期大学部こども学科通信教育課程> ※平成25年5月1日現在

専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月日＞	2013年度担当授業科目名	配当 年次	担当 単位数
専	准教授	スズキ ヨシコ 鈴木 美子 ＜平成19年4月＞	幼児理解 幼児教育方法論 保育実習Ⅰ(保育所・施設) キャリア開発演習Ⅰ(保育士・教養・教員コース) キャリア開発演習Ⅱ(保育士・教養・教員コース) 教育実習指導(初等) 教育実習(初等)Ⅰ 教育実習(初等)Ⅱ 保育原理 カリキュラム論 保育・教職実践演習	1 2 2 2 3 2 3 3 1 3 3	2 2 4 2 2 1 2 2 2 2 2
専	准教授	モリ マサト 森 正人 ＜平成22年4月＞	情報機器の操作Ⅰ 情報機器の操作Ⅱ	1 2	2 2
専	准教授	マツモト タケシ 松本 岳志 ＜平成22年4月＞	音楽基礎Ⅰ 音楽基礎Ⅱ 音楽科指導法 こどもの音楽Ⅰ こどもの音楽Ⅱ	2 2 2 2 2	2 2 2 2 2
専	講師	マツキ ヒロト 松木 洋人 ＜平成22年4月＞	文章表現 家庭支援論 総合演習 子育て支援論	1 2 2 3	2 2 2 2
専	助教	モリ タクミ 守 巧 ＜平成23年4月＞	保育内容(環境) 保育内容(人間関係) 保育内容総論 保育内容(環境Ⅱ) 保育相談支援演習 教職実践演習(幼稚園) 保育実習事前指導Ⅰ(保育所・施設) 保育実習事後指導Ⅰ(保育所・施設) 保育実習事前指導Ⅱ(保育所) 保育実習事後指導Ⅱ(保育所) 保育実習事前指導Ⅲ(施設) 保育実習事後指導Ⅲ(施設)	1 1 1 2 3 2 2 2 2 3 2 3	2 2 2 1 2 2 1 1 1 1 1 1
専	助教	トヨタ リコ 豊田 賀子 ＜平成24年4月＞	教育相談(カウンセリングを含む) 教育心理学 発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ 臨床心理学 カウンセリングの基礎	2 2 1 2 3 3	2 2 2 2 2 2
専	助教	テヅカ チヒロ 手塚 千尋 ＜平成25年4月＞	図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ 図画工作科指導法	1 2 2	2 2 2

4 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (平成25年2月)	○併修制度を利用する学生について、専門学校の入試試験と短期大学の入学試験は別々に実施しているとの説明であるが、学生は専門学校の入学試験のみを受験し、短期大学の試験を受験した認識がないことや、併修制度の対象となる学部・学科がわかりにくいことから、併修制度全体の概要や入学の流れがわかるような広報を行うことも含め、大学4年制学部・短大としての教育水準を維持するような運用を行うよう引き続き努力すること。	併修制度利用希望者に対しては、入学前に専門学校で実施される入学説明会、入試時、専門学校合格後のガイダンス等において、併修とは、短期大学と専門学校の双方に在籍して学習を進めるものであること、その学習内容、併修制度の対象となる学部・学科所属情報、併修のメリットやデメリット等を丁寧に説明し、説明の過程で併修を希望しない対象者が出た場合は、志願内容を変更する機会を与え、志願者に配慮している。また専門学校合格後に短期大学部通信教育課程の書類選考があることを同時に説明している。	平成26年度入学生を対象とした事前説明会は、平成25年4月以降、随時実施を予定する。また、東京福祉大学通信教育課程の「入学案内」パンフレット中、併修制度全体の概要や入学の流れを掲載し、入学希望者への併修制度に対する理解を引き続き促していく。
	○在留資格「留学」以外の在留資格で日本に滞在している外国人や、既に在留資格「留学」の資格を持ち、高等専門学校・大学・大学院・短期大学以外の校種に通っている外国人を対象に、平成24年度から日本文化を学ばせるとして日本語学習に関する授業科目や日本語教育に関する授業科目を多数開設しているが、教育学部教育学科にこれらの授業科目を開設し、学士（教育学）を授与することについて、学部学科の設置の趣旨に合致したものであることについて対外的に説明できるように整理すること。	短期大学部該当なし。	
	○シラバスについて、具体的な授業計画が記載されていない授業科目が見受けられることから、授業の質を確保する観点や学生が見て分かりやすいものとする観点から改善すること。	平成25年度版のシラバス発行に向けて、各科目の学習内容詳細、及び学習のポイントを追加し、具体的な授業計画を示した上で、授業の質を確保できるよう改定を行った。	
	○スクーリングの授業科目について、シラバスに記載されている担当教員以外の教員が授業を実施している場合があることから、シラバスの記載、授業運営について適切なものとする。	平成25年度版のシラバス改定に向けて、スクーリングの授業科目を担当する教員は全てシラバスの「教員名」の欄に氏名を記載することを徹底する。	
	○卒業証書等諸経費・同窓会費について、任意の徴収であることや途中で退学した学生、退会を希望する学生に対する取扱い等を定めることについて引き続き対応すること。	卒業証書等諸経費は、学生募集要項及び入学案内において、卒業手続き上の必要経費として周知し徴収している。 同窓会費は、平成25年度入学生より、学生募集要項、及び入学案内において、任意徴収であることを明記し周知している。一度入会した途中で退学した学生、退会を希望する学生に対する取扱いについては、同窓会規程に則り対応する。	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。